

大沢野・富山南道路かわら版

～大沢野町及び富山市(新保・熊野・蜷川)にお住まいのみなさんへ～

(今回のご報告内容)

現在までの検討経過をご報告いたします

このかわら版は、大沢野町ならびに富山市の新保、熊野、蜷川校下の各世帯に配布させていただいています。

1. これまでの作業経過をご報告いたします

国土交通省は、昨年6月に発行した大沢野・富山南道路かわら版(以下、かわら版)第1号において、大沢野町塩地先から国道41号に接続するまでのルート帯案と、大沢野・富山南道路全区間のインターチェンジ設置候補地について提示させていただきました。

その内容は、同7月に開催した地域懇談会や地区別住民説明会(富山市3校下対象)などを通じてご説明させていただくとともに、同かわら版に添付したアンケート調査などにより皆さんの意向をお聞きしております。 アンケート調査結果は、かわら版第2号(9月発行)などを参照ください。

懇談会や説明会を通じて、特に道路の整備が予定される地域にお住まいの方々より、多くのご意見をいただきました。その結果、かわら版で提示した「ルート帯案周辺にお住まいの方々」に十分な説明が必要であることを強く認識しました。

そのため、これまでの間は、『新保校区自治振興会』ならびに『富山高山連絡道路対策協議会(以降「新保地区協議会」呼ぶ)』(8月発足)に対して、より具体的な説明と質疑応答を行って参りました。10月には、新保地区協議会より正式に意見書をいただき、それに対する回答を11月に行うなど協議を進めてきました(下図参照)。また、昨年12月に開かれたPI委員会においても、今後は新保地区協議会等と調整しながら検討を進めていく必要があることが確認されています。

【新保地区協議会からの意見書の質問と事業者の回答(要旨)】

[質問1]

Q. ルート帯の進路を大沢野町塩付付近から国道41号へ向け、下大久保付近で国道41号に接続させる。接続地点から富山市街地方向の国道41号は、4車線に拡幅するという案は可能ですか？

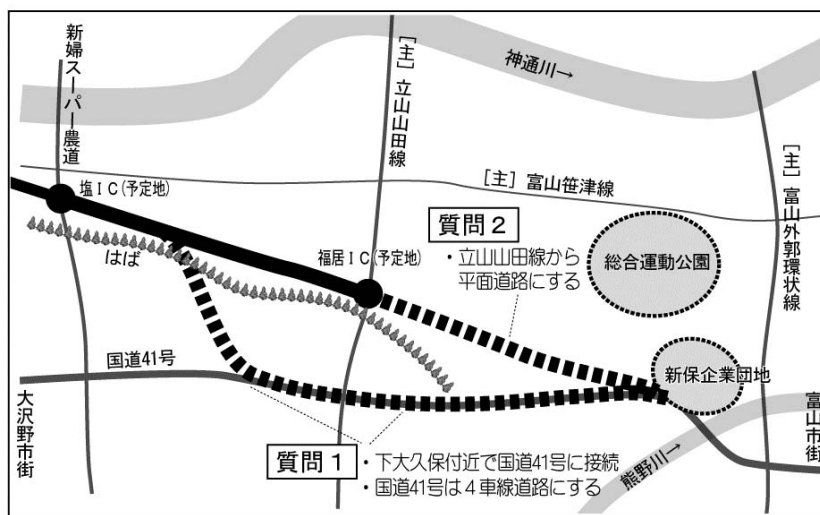
A. 設計上は不可能な案ではありませんが、国道41号との接続部ならびに拡幅区間において円滑な交通を維持することができず、都市間をノンストップで連絡させるという地域高規格道路本来の機能が失われることから、当該案の採用は困難です。

[質問2]

Q. 高規格として整備するのは福居付近([主]立山山田線交差)までとし、福居付近から国道41号に接続する区間は平面道路(一般道路)として整備することはできませんか？

A. 本道路は、地域高規格道路の本来の機能を果たすために、国道41号に接続するまでは立体構造とし、できる限り乗り入れのできない道路として整備します。但し、周囲の景観や営農への影響を考慮し、できる限り低盛土となるよう配慮します。

質問のイメージ図



2. 現在の作業状況と今後の予定について

現在は、国土交通省の考える最適な「ルート帯の位置」の検討を行っております。「インターチェンジの配置」についても、ルート帯の位置とあわせて検討しています。

これら国土交通省案（叩き台）のご説明は、2月以降を予定しております。

最初に「地域懇談会」を開催し、各地域の町内会長さん等へご説明させていただきます。その後、「かわら版」を各世帯へ配布するとともに、「地区住民説明会」において詳しくご説明させていただく予定です。

また今回は、国土交通省の考えをより詳しくお伝えしたいため、役場や地区施設等（皆さんが日常訪れる機会の多い場所）にて、一定期間、詳細な情報提供を行う機会を設けたいと考えています。

具体的な方法や日時・場所等につきましては、後日改めてご案内させていただきます。

今後予定している活動内容

国土交通省案（たたき台）の決定 < 2月以降の予定 >

地域懇談会の開催

かわら版の発行および意見募集

地区住民説明会の開催

その他の情報提供活動

順次実施致します

(お問い合わせ先)

国土交通省北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調査第二課 担当:室、武田

電話 076-424-9786 (直通) FAX 076-424-1772

富山市 建設部道路課 担当:渡辺、経澤

電話 076-443-2091 (直通) FAX 076-443-2187

大沢野町 建設課 担当:神通、前田

電話 076-468-1111 (代表) FAX 076-468-2642

(専用ホームページアドレス)

<http://www.osawano-road.com/>

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます